

緑ヶ丘・滝坂小 圏域

はじめに

緑ヶ丘・滝坂小圏域は、地域の実状を共有していく中で、地域ごとの特徴や課題などが異なり、「圏域を細分化して話し合いをすることで、より地域性を活かした活動につながるのでは」との意見が委員の方々から挙がり、3つのエリア（つつじヶ丘・緑ヶ丘・仙川）に分けて話し合いを行いました。

第1分科会ではエリア別に地域の特徴や課題などを共有し、第2分科会では具体的に地域に必要な活動や取組みなどについて話し合いを進めました。



つつじヶ丘エリア

分科会日程：①令和5年7月3日 ②令和5年8月28日

●メンバー

石井喜元（民生児童委員）、富永久美子（滝坂小地区協きずな）、本多祐昭（常楽院住職）
諏訪智（創造農園）、栗城耕平（希望ヶ丘）、大木智恵子（しばさき彩ステーション）



第1回分科会

- ・まちがきれいで適度な緑も見られ、気持ちよく穏やかに暮らせる
- ・歴史のある小学校を中心に、地域に長く住まわれる方が多い
- ・子ども達の障がい理解を深めたい
- ・障がいのある方の就労先が増えてほしい

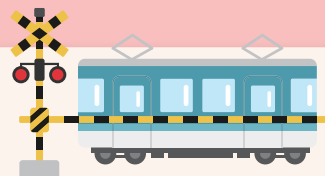


地域の方々が触れ合える機会・場所が欲しい
また多彩な地域の方同士をつなげる仕組みをつくりたい

第2回分科会

地域の誰もが集える交流拠点が欲しい

- ・気軽に立ち寄れ、地域の方と触れ合える
- ・孤独を感じている高齢者の生きがいづくり
- ・高齢者から若い世代へ技術を伝え、ともに学ぶ場
- ・若い子育て世代の親が行きやすく、必要な情報を得られて相談しやすい場
- ・誰でも参加しやすい講座の実施（共通の話題で集まれるような内容）
- ・今後も一緒に考える仲間を増やし、交流拠点について地域のニーズを集めていく



緑ヶ丘エリア

分科会日程：①令和5年6月27日 ②令和5年7月27日

●メンバー

森田晶子（民生児童委員）、田中東朗（POSTO）、阿部俊子（まちかどサロン）、大野奈保美（健全育成推進委員）、福田なお美（八中地域コーディネーター）、山内聡（スマホを楽しむ会）



第1回分科会

- ・地域活動が活発で、高齢者や子どもが元気
- ・活動場所や担い手などの地域資源がある
- ・様々な活動があるが担い手が同じで負担がある
- ・若い世代や男性の地域参加を増やしたい
- ・困っている子どもが見えにくい
- ・子育て世代のネットワークが欲しい ・近隣大学と地域の繋がりを強めたい



第2回分科会

- 若い人の地域参加（活動の見える化）
- ・活動マップを作成する
- ・活動団体の目的・日程・場所・ボランティア募集についての情報を一覧にする
- ・紙やSNSなど様々な広報媒体を活用する



子育て世代・子どもを見守るネットワーク

- ・年齢を限定せず地域の子どもや保護者が交流できる機会をつくる
- ・イベントを通したネットワークづくり
- ・困っていることに気付き合えるまちに



男性の地域参加

- ・「自分にしかできないこと」を見つけやすくする
- ・あえて活動内容を限定してボランティアを募集する
- ・仕事で培ったスキルや潜在能力を活かせる仕組みづくり
- ・男性の集いやすい場所をつくる



近隣大学との連携

- ・関わりを更に深める
- ・児童館や小地域交流事業、第八中学校の学習支援などの関わりを更に深める
- ・新たな交流の機会をつくり、学生の学びや地域のつながりを強める
- ・災害時などもしもの時に協力し合える関係づくり



第八中学校保護者の方や生徒の方にアンケートをとり61件の回答をいただきました！▶▶

仙川エリア

分科会日程：①令和5年6月30日 ②令和5年8月2日

●メンバー

塚本依子（民生児童委員）、田中東朗（POSTO）

鈴木正宏（キナリヤ）、篠田浩輔（せたがや仙川クリニック）



第1回分科会

- 企業や商店街、若者世代も多く集まり活気があるのいいところ
- 一方で、街の開発が進むにつれて集合住宅も増え、隣近所の交流が少なくなっていたり、高齢者や障がい者、子育て世代以外の若者の居場所が少ない



子どもも大人も高齢者も若者も、みんなが気軽に来られる居場所が仙川エリアに足りないのでつくりたい

第2回分科会

希薄になった近所付き合いを取り戻すために

- あいさつや周辺地域での交流機会を増やす
- 好きな事や共通点等、きっかけがあれば自然と顔見知りになり、つながりやすい



障がい者福祉への取り組み、活動について

- 当事者目線からのバリアフリーをマッピング化
- 物理的な面はもちろん、心のバリアフリーが浸透して障がいを「知る」ことにつながる取り組み



仙川駅前の発展について

- 元々あるお店等を気軽に立ち寄れる休憩スペースにするような取り組み
- 多くのお店や施設があるからこそ、個人店や医療機関など、まちを知ることができるマップが欲しい



近隣施設・学校など文化的資源を活用するために

- 音楽や芸術がもっと身近に感じられるまちにするような取り組み
- 芸術活動に対する認知度があがるよう、若者や地域に向けた発信をSNSなどを活用して行う



「こんなまちにしていきたい！」 私たちのスローガン

つつじヶ丘
エリア

つつじヶ丘駅北口にみんなが集える場所をつくる！

緑ヶ丘
エリア

地域活動の「見える化」を進めよう！

仙川
エリア

どんな人でも居心地よく過ごせる仙川に！

おわりに

この計画を策定していくにあたり、ご協力いただいた委員の皆さまからの感想やそれぞれの「思い」についてお聞きしました。

「福祉」って、なんだか、遠い言葉。『地域福祉どうする？』って問いも、大きすぎて遠すぎて手が届かないから、みんなで小さな問いに分解して、自分たちのほうに引き寄せてみる。それを繰り返して、最初の問いに少しだけ近づいたような気がして、顔を上げてみると、あ、なんだか、もっと大きく見える。うわあ。そういう仕事は楽しい。（田中東朗）

調布に住んで48年この度会議に参加させて頂き、委員と職員の皆様との話し合いを通じて色々な世代の輪が広がり、昭和のお節介な街が再び調布に戻るよう意識していきたいと思いました。（塚本依子）

地域でいろんな活動をされている方のお話を伺えて勉強になりました。つつじヶ丘地区の皆さまがもっと快適で住みやすい街になることを願い活動を続けてまいります。（富永久美子）

地域をより良くするんだとの思いで繋がっている皆様とお話が出来た事が有意義でした。つつじヶ丘がより幸せな街になりますように。ありがとうございます。（石井喜元）

地域の特性や利点を再確認し今後の課題などが見えたこと、それを参加された方々と共有できたことは私個人にとってひとつの成果でした。地域福祉活動計画をもとにより住みやすい地域になればと思います。（森田晶子）



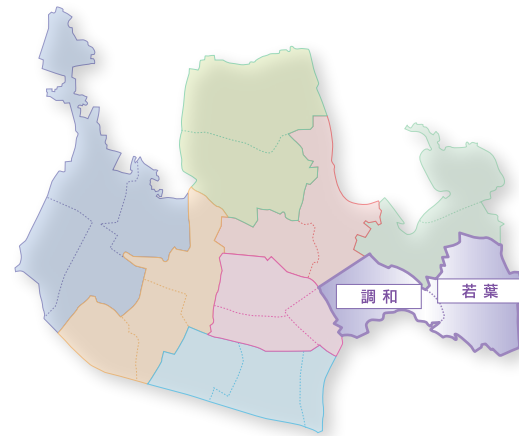
ここで皆さんとつながれてよかった！

といった感想も多くいただきました！

若葉・調和小 圏域



「若葉」あふれる
多様な人と人が
「調和」するまち



基本データ

〈地理〉

- ・調布市の南東部に位置
世田谷区、狛江市と隣接
- ・国分寺崖線の影響で、高低差がある。
- ・樹木の保全区域がある。
- ・調和地区には野川が流れる。

〈人口〉

- ・65歳以上の高齢化率21.84%（令和5年10月
現在）
- ・若葉地域は転入により、人口が増加している。

〈住宅〉

- ・大きな集合住宅（神代団地：約2,000
世帯）がある。

〈資源〉

- ・入間地域福祉センター、金子地域福祉
センターなどが活動の拠点となっ
ている（ボランティアコーディネーター
配置なし）。

若葉・調和小圏域のみりょく

若葉・調和小圏域は、調布の中でも特に自然がゆたかな地域です。「若葉の森」には、みみずくなどの野鳥が多く生息し、朝は鳥の鳴き声で目覚めることができます。野川を中心とした人の生活の営みが、数々の遺跡によって残されています。また、神社が点在し、白蛇姫の伝説など地域に受け継がれている物語があります。

近年では武者小路実篤が住んでいたことから文化人たちが行き交う場所となっています。住みやすく子育てしやすい環境であることから、子育てをするために戻ってくる人もいます。また、長く居住する人が多く、住民どうしの横のつながりがあります。そのつながりを軸に、「坂の上のばあちゃん家」や「はちみつルーム」、「居酒屋じんだい」「地区協を中心とした防犯・防災活動」など、さらにつながりを広げ、子どもから高齢者まで幅広い世代の住民が安心して暮らせるような活動が充実しています。



若葉・調和小圏域の活動計画会議のあゆみ



1 3月20日（月） @希望の家分場 12名

〈地域の課題・
困りごと〉
〈こんな地域にしたい〉

出たり入ったりできる自由な会議

2～5月 アンケート・ヒアリング
入間・金子小地域交流事業
実行委員の声

2 5月31日（水） @金子地域福祉センター 16名

〈地域の課題を
さらに深める〉

5月 ・アンケート・ヒアリング
若葉・調和小圏域で暮らす障が
いのある方、その家族の声

・ワークショップ・ヒアリング
桐朋学園ボランティアサークル
「空」中高生の声

3 6月29日（木） @希望の家分場 11名

〈地域の強み、魅力〉

7月 多世代がゆるやかにつながる場の見学

7月12日（水）
「comarch」



7月18日（火）
「はちみつルーム」

7月21日（金）
「居酒屋じんだい」



4 8月2日（水） @金子地域福祉センター 11名

〈今後の取り組み・
活動について〉

5 9月6日（水） @希望の家分場 9名

〈今後の取り組み・
活動について〉

話し合っているだけでなく、
行動しよう！！

→ アクションプラン



〈交流〉 ◇居酒屋じんだい ◇はちみつルーム ◇坂の上のばあちゃん家

こんな地域に
したい

- ・住民どうしの横のつながりが強い地域にしたい
- ・住民どうしの関わりをもっと増やしたい

課題

- ・住民どうしが関わる機会が少ない
- ・地域の担い手の高齢化
- ・自治会の加入率が低下している
- ・外国人が孤立している

こんな取り組み
できたらいいな
短期 ★ 長期 ☆

- ★ 地域で集まって話し合い
- ★ スマホを活用した交流
- ☆ 神代団地商店街で駄菓子屋さん
- ☆ 移動動物園を実施



〈子ども〉 ◇はちみつルーム ◇坂の上のばあちゃん家

こんな地域に
したい

- ・子どもがのびのび遊べる地域にしたい
- ・多様な子どもの居場所がある地域にしたい

課題

- ・不登校になると孤立してしまう
- ・子どもが利用できるサービスが少ない
- ・公園でボール遊びが禁止
- ・子どもの遊ぶ声に苦情がでる

こんな取り組み
できたらいいな
短期 ★ 長期 ☆

- ★ 郷土教育のイベント
- ★ 公園マップの作成
- ☆ フードパントリーから子ども食堂に展開
- ☆ 幼稚園との交流



〈居場所〉 ◇居酒屋じんだい ◇はちみつルーム ◇坂の上のばあちゃん家

こんな地域に
したい

- ・得意分野がある人がつながる地域にしたい

課題

- ・中高生が無料で使える居場所がない
- ・空き家の管理の問題
- ・得意分野をいかせる場所がない
- ・集会場がもっとあればいい

こんな取り組み
できたらいいな
短期 ★ 長期 ☆

- ☆ 常設のコミュニティカフェや居酒屋、サロン
- ☆ 多世代交流の居場所
- ☆ 空き家の活用



〈障がい〉 ◆地区協防災訓練 with 障がい当事者

こんな地域に
したい

- ・障がいがある人も安心して暮らせる地域にしたい

課題

- ・障がいがある人の地域活動への参加
- ・障がいの理解
- ・街路樹の根が盛り上がっていて危険
- ・駅のエスカレーターが安心して利用できない
- ・歩道と車道の段差が歩きにくい

こんな取り組み
できたらいいな
短期 ★ 長期 ☆

- ★ 神代団地でポッチャ大会
- ★ 希望の家分場で多世代食堂
- ☆ 日中でも障がいがある人が安心して移動できる環境



〈自然〉 ◇入間・樹林の会 ◇高校生によるごみ拾い

こんな地域に
したい

- ・豊かな自然を大事にし、人と自然が共生する地域にしたい

課題

- ・緑の基本計画の実行
- ・身近な自然への関心がうすい

こんな取り組み
できたらいいな
短期 ★ 長期 ☆

- ★ 子ども対象の見学会、ウォークラリーを実施
- ★ 清掃、落ち葉拾い
- ☆ 緑の基本計画実現に向けた話し合い



〈防犯・防災〉 ◆地区協防犯パトロール with 桐朋学園学生ボランティア

こんな地域に
したい

- ・お互いの顔を知っている安心・安全な地域にしたい

課題

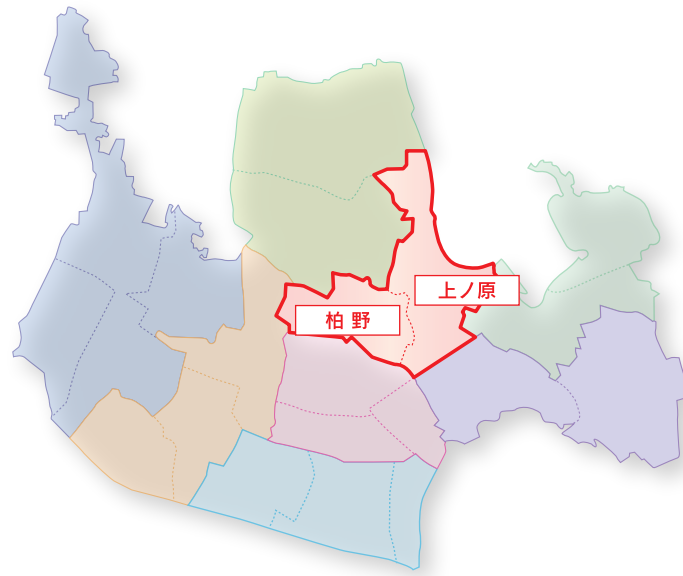
- ・災害時に周りにだれが住んでいるかわからない
- ・あいさつしにくい 不審者に思われることがある

こんな取り組み
できたらいいな
短期 ★ 長期 ☆

- ★ かまどベンチでポップコーンづくり・焼き芋大会
- ★ スマホを活用した防災対策
- ☆ 在宅避難訓練の工夫



上ノ原・柏野小 圏域



地域の特徴

- ・ 野川が流れ、畑が多く、深大寺自然広場は「かに山」という愛称で多くの地域住民に親しまれている。
- ・ 自然豊かな地域で紀元前の遺跡が複数ある。
- ・ 8圏域の中で比較的若い方が多い地域。
- ・ 国分寺崖線に沿い高低差の多い地域であり、移動や買い物が困難と思われる場所もある。



策定までの流れ

第1回策定会議（令和5年3月16日）

テーマ「この地域のいいところ・好きなところ」

第2回策定会議（令和5年4月25日）

テーマ「この地域の、だれもがもっと住みやすくなるには」

第3回策定会議（令和5年5月23日）

テーマ「地域の特徴を生かした形で出来ること」

第4回策定会議（令和5年6月27日）

テーマ「まとめ・この地域でやりたいこと」



策定会議の様子

スローガン

豊かな自然の中で誰でも安心して暮らせるまち

会議メンバーの想い

世代関係なく
楽しめるイベントが
できるといい。

高齢者で外出する
機会のない方など、
そのきっかけづくりと
して簡単な勉強会を
開きたい。

今の自然（かに山・
野川など）を守りつつ、
子どもたちと楽しく遊べる
企画（餅つき・昔遊びな
ど）をしたらどうか。

自然とのふれあいの
機会と同時に防災のこ
とも伝えていきたい。

祇園寺、虎狛神社は
1200年以上の歴史が
ある。その歴史を語
り継ぐことも大切。

長老の方に
地域の昔話を聞くこ
とは、自分の地域に愛着
がわくきっかけにな
ると思う。

坂の上の地域にも
大人から子どもまで
誰もが使える居場所、
拠点がほしい。

お互いが認め合う
やさしいまちにし
たい。

目標1

つながるきっかけをつくる

- 〈例〉
- ・ ウォーキングツアー
 - ・ こども食堂
 - ・ 子どもが一人でも遊びに行ける「プレーパーク」
 - ・ ペットを通じた交流
 - ・ 脳トレ教室



目標2

地域愛を伝える

- 〈例〉
- ・ 自然や寺社等、地域の歴史を次の世代につなげる
 - ・ 地域を語る会
 - ・ 地域のことを知る特別授業



目標3

身近な情報が行き交う

- 〈例〉
- ・ おさんぽMAPの作成
 - ・ 地域内の情報案内板の設置
 - ・ スマホの活用



【策定会議メンバーと職員】

渋谷さん、吉田さん、富澤さん、温井さん、大久保さん、光井さん、小田嶋さん、宇野さん、三浦さん、小柳さん、堀井さん、渡部さん、星さん、芳村さん（順不同）

A red crab illustration with the text "柏野・上 / 原" and "かに山 LIFE" written on its shell. The crab is facing left, with its legs and claws visible. The text is in white with black outlines. The background is white with a light blue border.

